

第9回中心市街地のグランドデザインを考える分科会記録

日 時 平成21年11月9日(月) 19:00～21:00

場 所 小田原箱根商工会議所 4階 談話室

内 容

前回・前々回と、大外郭の結束点である「山王」「寺町」「板橋」「松原」のポイント周辺および、山王・寺町・松原を線で結んだ内部(中町・寿町・新玉)の特色を表す写真をピックアップしてきた。

次回の勉強会最終回ではAB双方の分科会で発表し、その関連性など可能性を見つけていきたいところだが、当分科会ではそこまでの到達は難しいことが予想されるため、今回はある程度の方向性を定めていくこととする。

また、佐谷マネージャーより、出席者に、「まとめの方向性として、小田原は城郭都市とし発展し現在に至っていることをベースとする」ことを認識として提示、出席者全員は異議なくこれを共通認識した。

併せて、佐谷マネージャーよりこれから作業をするにあたり、ポイントが挙げられた。

- 小田原には、城郭都市から新しい町割りへ、そして現代へと変遷してきた。昔のものに戻していくのではなく、各地域に根ざしたものがある・・・ということで、他に出せるものがあれば引き出していくこととする。
- ポイントを引き出すにあたり、商人文化といったものがどこを中心としてきたのか・・・という視点では、①東海道や甲州道、海との関係、②松原神社を中心とした大きな小田原の「へそ」があった。③江戸口・箱根口・井細田口の周辺。これらをふまえて浮きだたしていくことでお城を広く囲んだ中での街の形ができる。
- 現在は駅中心としているが、もう一度小田原全体の活性化を目指すためには、松原神社を中心とした辺りが「小田原駅」「小田原城」と並ぶもう一つの核とすべき。街かど博物館とは違う、広い意味での小田原の特性を浮き出させていくと回遊できる範囲も出てくる。

まとめの方向として「城郭都市」のほか、キャッチフレーズを掲げることについて、出席者に問うたところ、「歴史と希望を紡ぐまち小田原」という意見が出た。これは、「紡ぐ」という行動。「城郭都市小田原」ということが各所に埋め込まれ、それを掘り起こしながらほころびを紡いで形にしていく。これを新しい生活などに活かす形で生き返らせていく・・・という意。参加者一同、異議なくこれをキャッチフレーズとした。

この後、出席者の意見交換を行った結果、11月27日の勉強会最終日では「城郭都市」「各所をつなぐまち」として、各ポイントで『こうしよう』というのを作ることとする。

<主な意見>

【中町・寺町・山王】

- ・特色は(他エリアに比べて)薄い。新しいものを挿入していかないと
- ・寺町は井細田との関連性があるって活きる。中心市街地活性化の中で一言添えるべき箇所
- ・中町は職工業、生産地としてまちを支えていたが今は衰退している。新しいものを挿入する必要があるが、知的機能を含めた住宅地として位置づけできないか。(国際通りよりも外側はこれに当てはまるか)
- ・特色ある建物はあがるが散乱している。次に紡ぐ作業をする時には、空いた所を建て替える時に地域のデザイン的な要素を決めて、それに合わせる形で徐々に集計をしていく方向があるのではないか。(そのためには「この地域はこう」を予め作る必要がある)
- ・山王川の水路を活かす(自然がある)
- ・国際通りは住宅街の位置づけ。久津間商店(鯉節)、あおやぎ(煎餅)、村上金蔵商店(製麺)など様々な店舗がある。それは誘導するポイントになり得る。歩いて行くための各ポイントに落とし込んだら。(ここへの行き方がわかるような)なお、店舗は外からの人が来て楽しい「おいしい食べ物が出る」「何かを作っているところが見える」ようなもの
- ・提灯屋で見せる店舗づくりはできないか
- ・見せるやり方で営業しているのは一丁田の竹亀、井細田で網を作っている店舗など、職人はまだまだ多い。
- ・このエリアは一般的な商店街ではなく、特色のある、技があるような店舗が点在する

【山王】

- ・見附に「小田原に入る」というのを表す(関所の大木戸のような)目立つものがあれば。
- ・ゲートを作るのであれば国道1号線の幅ぐらいの高さの照明を、何十メートルにわたって数本設置したら入ってきた時に「小田原に来た」という感覚になる

【松原周辺】

海にまつわる物をすえ、将来的にここを開発する。

○海との関連

- ・松原より海側は海に関連したエリア(水産加工業など)海を表現する。
- ・海岸線は浜町付近から早川にかけて「水産加工」「遊び」「漁業」の浜となっている
- ・大津波を防いだ防波堤は残っている。海と松原神社をつなぐ遊び場の空間にできれば(松原神社は海の守り)例えば、堤防の形は保存をしながら、西湘バイパスと堤防の間に土を盛り上げたり、松を植えたりしては。海を見渡せるような展望エリアができないか。また、展望階のあるロジック風のカフェテリアや、長い見晴らし台など。これは西湘バイパスを隠すことにもなり、バイパスで生じる音や排気ガスの遮断効果にもなり得る。また、パークアンドライドの起点にするなど
- ・ここを中心として「海と親しむ」というエリアとして、機能としては公的なことやリゾート的なこととかにすれば良いか。
- ・江ノ浦に堤防があるのでそこまで伸ばせたら最高
- ・「千度小路」や「ガンギ町(船を上げる場所)」をも活かすしつらえのデザインを含めて見晴らしの丘を作っては。

- ・堤防付近は「出ていったら近くに海がある」というような公園にしたらどうか（海を感じられるような）
- ・日の出を見るのも良いし、月見をするのも良い。人が集まれば宮小路の様子も変わるのではないかな。
- ・土塁を作るとしたら、市営プール付近から袖が浜付近になるのでは
- ・運動公園はバスケットゴールなどの施設があるが人通りがなく怖い雰囲気がある。遊ばせられるようにできれば。
- ・松原神社周辺は勢いでやらないと開発できない
- ・宮小路付近をコリアンタウンや歌舞伎町に
- ・宮小路を昼間の街にできないか
- ・小田原どんを出すことで、一丁田から青物町に横断する観光客が増えた

○蒲鉾や水産加工関連の切り口について

- ・鈴廣蒲鉾の建物を有効利用できないか。
- ・鈴廣かかまぼこ通りで蒲鉾の朝市のようなものできないか。
- ・朝の時間だけ通りを車両進入禁止にして各お店がワゴン販売をしても良いのでは。
- ・二の丸広場でイベントをせずに(先日の商店街の収穫祭のような)散らばった会場でイベントができないか(駐車場を借りたりなど)。
- ・籠常や久津間商店があるので、「おだわらの出汁」ができないか。
- ・籠常の通りには、鰹節・蒲鉾・干物の店舗がある。
- ・蒲鉾通り側からお城ならば国道1号線を横断しやすい。
- ・小田原おでんもある。
- ・市営プールから丸う付近までは距離はあるが、店舗があるので案外歩いてしまう。
- ・かまぼこ通りをしっかりと磨くと周辺へ影響力が波及するのではないかな。

○青物町の開発

- ・特に本町・浜町海沿い周辺はヤオマサが閉店して、車で小田原百貨店(板橋・寿町)か、駅周辺へ行くなど不便を強いられている(特にお年寄り)。
- ・仮に青物町周辺に商業施設を置いた場合はどのようなグレードになるのか。(実現しなかったがS59年には国際通りに15階建て大型商業施設の計画があったが、結果としてマンションが建った)。
- ・青物町のヤオマサがなくなったことで逆に新しいイメージ作りができるチャンスを得ている。
- ・大きな拠点としてターミナル性を持たせることもできるのでは。
- ・青物町に目玉になる飲食店が多くあれば(小田原どんで頑張っているし)。

○松原周辺への誘導について

- ・松原まで人を導くには目的地となるショップを幾つか入れることが必要(嗜好品)。道の駅はどうだろうか。(車を侵入させないで歩かせるようなのはできないか)
- ・駅からお城へ行って海へ出ようにも、国道を渡らないといけない。

【南町】

- ・南町は中級の武家屋敷。現在は高級住宅街になっている。
- ・1号線の両側は特色ある店舗が多いが道路幅が広すぎる。角地にはあまり特色ある店舗はない。
- ・西海子通りはシンボル道路だが、実際には抜け道として使われている(桜の時期や紅葉の時期は良いが)。
- ・奈良屋旅館跡も有効利用できれば。
- ・保健所跡に図書館を移設させようという案もかつてあった。
- ・城下町ホールも全ての演目で行うのではなく、演目によって違う劇場でやるなど。また和事の劇場をここに持ってくるようにしたらどうか。(バス停などのアクセスの問題はあるが)。

【板橋】

- ・板橋は道の駅。
- ・新川として南町へ繋がる水路の質は良い。
- ・水路がずっと見えていなくとも所々にあれば繋げることができる。
- ・板橋に行くには電車で直接か、青橋のトンネルを通っていくかになる。
- ・お城通りが通りやすくなればベスト(現在は道路幅を広げている)。

【回遊ルートについて】

- ・御幸の浜交差点から松原方面に誘導させようにも、信号の待ち時間が長く、また「渡ったら何か面白いものがある」という期待をさせるようなものが無いと横断しない。
- ・一度海まで誘導して人が上がってきたら南町の裏道の散策道を通ってずっと行けるようにしたら(車は侵入禁止にするなど)。途中にお寺も点在するのでそのまま早川方面まで誘導させることができる。
- ・国道を横断させることで交通渋滞の一因になるのならば、ペDESTリアンハブにして、歩行者の進路を変えたらどうか。
- ・お城の吸引力は強い。そこから他へ流すことも必要。そのためには街を分断する国道1号線をどう対処するかが必要。
- ・道路を変えるのは難しいので、誘導させる方法を考えるべき(渡らせる理由と、目に見せて、渡ることの期待感を持たせる仕組み)。
- ・人を誘導するにはある程度の間隔で見所のポイントがないと難しい。目的としたい個所へ誘う期待感を持たせるようなものが見えてくることをやろう。
- ・ポイントになる箇所を決め、そこからどの方向に抜け道があるのかを矢印を書いていく。
- ・各ポイントを結ぶにあたって街には多様性がないといけない。人をコントロールすることは非常に難しい。様々な生き方があって良い。ただ、各エリアへの出入り口が幾つあるのかは示すべき。
- ・現状でそして、作ろうとなった時にどのように道を作るのはこれから議論をしていけば良い。(車が通る道でも、区画によっては住宅の裏通りで人だけが通れる道を作っても)
- ・総括的に全部行うのは難しいと思うので少しずつでも紡ぐようにやっていき、そのうち遠目で見ればやけていても全体的に綺麗になり織物のようになれば良い。

- ・まずは「このエリアはこう」というのをそれぞれやり、線で括って、そこに道がどう繋がっているかを見るだけでも違うのでは(「ここは」というものがなければ作っていく)。
- ・甲州通は一通のルートでうまく使えないか。また、その間の横断道は人が行き来できる重要な通路である。
- ・国際通りを対面道路にして銀座通りを歩行者天国にできないか(国道なので難しいか)。そこで虫食い状にできた空き地を駐車場にするなど有効利用ができないか。

【その他】

- ・住民の購買行動はどこだろうか。(ラスカ・小田原百貨店・ヨークマート・エポ・アプリ)
- ・かつて寺町境界は井細田に買い物に行っていた。
- ・回遊路として駅・銀座通り、場合によってはお城へ行って回遊道を作っている。
- ・さかなセンター付近のように、食べ物など、惹きつけるものがあれば人は留まる(小田原は「魚が美味しい」といわれている)。
- ・お城への導線にもなっている旭丘高校前の信号は観光地とは思えないほど狭くて不親切。広くすれば人の流れも変わる。城山トンネルもできているので早川方面へも誘導することができる。
- ・中心市街地を導線から考えっていったらどうか。
- ・結局は土地の人が動かなくてはいけない。こちらからアイデアを提示したらどうか。
- ・国道1号線から正面に山を見ると「聖岳」が見える。銀座通りを北に見ると大山が正面に見える。城郭都市の回りには必ず大きな山がある。(銀座通りは電線地中化やアーケード撤去の計画があるので見晴らしは更に良くなる) 南町の国道一号線からは箱根の双子山が見える。
- ・各シンボルの山が見えるような景観計画を提言する必要ではないか。

以上

<当日出席者> *順不同・敬称略

岩瀬照子、櫻井泰行、小野意雄、金井俊典、平井義人